



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月13日

上場会社名 夢展望株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3185 URL http://www.dreamv.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 隆宏  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 阪田 貴郁 (TEL) 072-761-9293  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	5,237	△0.0	△305	—	△338	—	△400	—
25年9月期第3四半期	5,239	—	199	—	159	—	104	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 △393百万円( —%) 25年9月期第3四半期 116百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	△284.98	—
25年9月期第3四半期	100.07	—

(注) 1 平成25年4月1日付で1株につき300株の株式分割を行いましたが、平成25年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 平成25年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

3 平成26年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年9月期第3四半期	2,716	—	742	—	27.3
25年9月期	2,955	—	1,135	—	38.4

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 742百万円 25年9月期 1,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,647	13.1	△441	—	△482	—	△568	—	△392.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(注) 当第3四半期連結累計期間において、主要な関係会社における異動はありませんが、当社の平成26年2月3日の取締役会により、南通佳尚服装有限公司の解散を決議しております。

それに伴い当第3四半期連結会計期間末における損失見込額2,817千円を事業整理損失引当金として計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間において事業整理損失13,540千円が発生しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期3Q	1,404,000株	25年9月期	1,404,000株
26年9月期3Q	一株	25年9月期	一株
26年9月期3Q	1,404,000株	25年9月期3Q	1,044,000株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 平成25年4月1日付で1株につき300株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により、輸出企業を中心に企業収益の改善傾向が顕著に表れ、また、消費税増税前の駆け込み需要等で個人消費が好調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、欧州債務問題・新興国経済の減速といった海外経済の不安や円安による原材料の高騰、また、4月以降は消費税増税前の駆け込み需要の反動による個人消費の落ち込みもあり、先行きの不透明感は依然として払拭しきれない状況が続いております。

当社グループが属するアパレル小売業界におきましては、消費税増税前の駆け込み需要も見られたものの、消費者の節約志向は依然として継続しているものと思われ、また、円安による原材料価格の高騰に加え、天候不順も相まって引き続き厳しい経営環境となりました。

このような市場環境の下、当社グループにおきましては、新規顧客層の獲得と販路の拡大のため、新ブランドの立上げや他社とのコラボレーションによる新ブランド開発を積極的に進めて参りました。また、百貨店や大型商業施設等での実店舗販売や他社ECモールへの出店といった取組みも進めており、販売チャネルの多様化を図るオムニチャネル戦略の展開も積極的に進めて参りました。

一方で、当社グループのメイン顧客層であるヤングレディースのトレンドの変化による流行の停滞感も影響し、定番商品を含め販売不振が続き、また、長引く円安の影響による輸入仕入原価高騰もあり、売上高、利益ともに前年を下回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,237百万円(前年同四半期比0.0%減)、営業損失は305百万円(前年同四半期は営業利益199百万円)、経常損失は338百万円(前年同四半期は経常利益159百万円)、四半期純損失は400百万円(前年同四半期は四半期純利益104百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (衣料品販売事業)

衣料品販売事業におきましては、リピート率の向上や新規顧客の獲得を目指し、品質の強化や顧客アンケート調査等を取り入れた商品展開、また雑誌社や玩具販売事業者など他社とのコラボレーション企画を実行するなど、顧客満足度の向上に引き続き取り組んで参りました。しかしながら、トレンドの変化に伴う低価格レディース業界の不振等もあり、秋冬物衣料・春夏物衣料ともに予想外の苦戦を強いられることとなりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の衣料品販売事業の売上高は4,041百万円(前年同四半期比6.4%減)、営業損失は253百万円(前年同四半期は営業利益248百万円)となりました。

#### (玩具・雑貨販売事業)

玩具・雑貨販売事業におきましては、引き続き少子化や消費者ニーズの多様化、円安による原材料高騰といった厳しい環境にはあるものの、個人消費の持ち直しもあり、主要取引先からの発注を中心に、受注は増加しております。また積極的に受注活動を行うとともに、業務の効率化・最適化をさらに進めており、安定した利益の確保を目指して取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の玩具・雑貨販売事業の売上高は876百万円(前年同四半期比33.7%増)、営業利益は21百万円(前年同四半期は営業損失22百万円)となりました。

(その他事業)

その他事業では、メーカーや小売事業者向けの広告販売事業、コンタクトレンズ販売事業、テレビ通信販売事業者及び他社インターネットモール等への卸売事業を行っております。他社インターネットモール等への卸売事業では、売上の増加と広告効果も目的として卸売先を増やし、また、テレビ通信販売事業者向けの卸売事業では、独立ブランド「Chapter One」により、これまでの顧客層とは違う年齢層の顧客獲得を進めるとともに、異なる角度からの認知度向上を図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間のその他事業の売上高は319百万円（前年同四半期比21.0%増）、営業損失は73百万円（前年同四半期は営業損失25百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて274百万円減少し、2,377百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が190百万円、商品及び製品が75百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて35百万円増加し、339百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が16百万円、無形固定資産が34百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ238百万円減少し、2,716百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて173百万円減少して1,122百万円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が48百万円、ポイント引当金が7百万円増加しましたが、買掛金が169百万円、未払法人税等が28百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて328百万円増加して851百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が331百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ155百万円増加し、1,974百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて393百万円減少して742百万円となりました。これは主に四半期純損失を400百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	993,973	1,056,977
受取手形及び売掛金	601,402	411,109
商品及び製品	893,948	817,949
繰延税金資産	14,310	—
その他	148,848	91,817
貸倒引当金	△1,185	△830
流動資産合計	2,651,299	2,377,022
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	26,565	47,577
機械及び装置(純額)	3,442	—
工具、器具及び備品(純額)	26,101	25,939
リース資産(純額)	4,250	3,125
有形固定資産合計	60,359	76,642
無形固定資産		
ソフトウェア	166,842	217,571
ソフトウェア仮勘定	15,540	—
商標権	4,756	6,692
リース資産	4,620	1,572
無形固定資産合計	191,760	225,836
投資その他の資産		
繰延税金資産	23,592	—
その他	28,035	36,901
投資その他の資産合計	51,628	36,901
固定資産合計	303,747	339,380
資産合計	2,955,046	2,716,402

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	447,873	278,170
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	232,352	281,234
リース債務	1,577	1,615
未払金	299,926	288,733
未払法人税等	30,151	1,960
ポイント引当金	8,990	16,548
賞与引当金	14,403	14,256
返品調整引当金	190	46
事業整理損失引当金	—	2,817
移転損失引当金	2,602	—
その他	58,185	36,928
流動負債合計	1,296,253	1,122,312
固定負債		
長期借入金	517,300	848,435
リース債務	3,025	1,808
長期未払金	2,656	1,736
固定負債合計	522,981	851,980
負債合計	1,819,235	1,974,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,185	592,185
資本剰余金	430,560	430,560
利益剰余金	119,035	△281,072
株主資本合計	1,141,780	741,672
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,969	437
その他の包括利益累計額合計	△5,969	437
純資産合計	1,135,810	742,110
負債純資産合計	2,955,046	2,716,402



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,239,625	5,237,443
売上原価	2,681,717	3,004,161
売上総利益	2,557,907	2,233,282
返品調整引当金戻入額	—	190
返品調整引当金繰入額	—	46
差引売上総利益	2,557,907	2,233,426
販売費及び一般管理費	2,357,999	2,538,622
営業利益又は営業損失(△)	199,908	△305,195
営業外収益		
受取利息	285	423
受取配当金	5	—
受取損害賠償金	—	1,743
その他	1,484	852
営業外収益合計	1,776	3,019
営業外費用		
支払利息	18,702	16,393
為替差損	4,834	12,331
株式交付費	4,819	—
株式公開費用	11,664	—
その他	1,931	7,478
営業外費用合計	41,951	36,203
経常利益又は経常損失(△)	159,733	△338,380
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	—	2,817
事業整理損失	—	13,540
固定資産除売却損	810	3,755
特別損失合計	810	20,112
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	158,923	△358,492
法人税、住民税及び事業税	53,443	3,712
法人税等調整額	1,003	37,903
法人税等合計	54,446	41,615
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	104,476	△400,108
四半期純利益又は四半期純損失(△)	104,476	△400,108

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	104,476	△400,108
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,417	6,407
その他の包括利益合計	12,417	6,407
四半期包括利益	116,893	△393,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,893	△393,700
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	その他事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,319,667	655,941	264,016	5,239,625	5,239,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,319,667	655,941	264,016	5,239,625	5,239,625
セグメント利益又は損失(△)	248,494	△22,975	△25,611	199,908	199,908

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	その他事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,041,192	876,861	319,389	5,237,443	5,237,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,041,192	876,861	319,389	5,237,443	5,237,443
セグメント利益又は損失(△)	△253,197	21,862	△73,860	△305,195	△305,195

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。